

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜経営情報科＞

科目名	ファイナンシャルプランニング概論 I	
担当教員の実務経験	税理士事務所を経営	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科1年/情報システム科2年 /経営情報科4年	
授業時間数・単位数	60コマ・4単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	生活に身近な「お金」の知識を体系立てて学習するとともに、「3級ファイナンシャルプランニング技能士」資格試験に合格するために必要な知識を学ぶ。	
授業の到達目標	3級ファイナンシャルプランニング技能士資格試験の合格を目標とする。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	問題集を利用し理解の確認に努めること。	
使用教科書・教材・参考書	うかる! FP3級 速攻テキスト （日本経済新聞社） うかる! FP3級 速攻問題集 （日本経済新聞社）	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	ライフプランニングと資金計画(ライフプランと資金計画・社会保険制度 年金制度)	6
	リスク管理(生命保険・損害保険・第三分野の保険)	6
	金融資産運用(金融商品・債券・株式・投資信託・外貨建て金融商品・ポートフォリオとデリバティブ)	6
	タックスプランニング(所得税・個人住民税)	5
	不動産(不動産取引・不動産に関する法律・不動産に関する税金)	5
	相続・事業承継(贈与税・相続税)	8
	学科試験科目問題演習	12
	実技試験科目問題演習	4
	過去問題演習	8
	合計	60
	授業単位数	4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ファイナンシャルプランニング概論Ⅱ	
実務経験	税理士事務所を経営し各企業への経営コンサルタントを行っている。	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科1年/経営情報科	
授業時間数・単位数	60コマ・4単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	個人資産運用に関してリスク管理、金融、税金、不動産、相続などについてファイナンシャルプランニング概論Ⅱより深い内容を学習する。	
授業の到達目標	2級ファイナンシャルプランニング技能士資格試験の合格を目標とする。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	過去問題を利用し、理解の確認に努めること。	
使用教科書・教材・参考書	わかる! FP2級 速攻テキスト （日本経済新聞社）	
授業上の注意点		
授業計画（内容）	コマ数	
	ライフプランニングと資金計画(ライフプランと資金計画・社会保険制度 年金制度)	10
	リスク管理(生命保険・損害保険・第三分野の保険)	10
	金融資産運用(金融商品・債券・株式・投資信託・外貨建て金融商品・ポートフォリオとデリバティブ)	10
	タックスプランニング(所得税・個人住民税)	10
	不動産(不動産取引・不動産に関する法律・不動産に関する税金)	10
	相続・事業承継(贈与税・相続税)	10
	合計	60
	授業単位数	4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	工業簿記	
実務経験	税理士事務所を経営し各企業への経営コンサルタントを行っている	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科1年/情報システム科2年/経営情報科4年	
授業時間数・単位数	60コマ ・4単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	製造業における原価の流れと原価計算を学ぶ。	
授業の到達目標	工業簿記の基礎を理解し、基本的な原価計算ができる。日商簿記2級に合格する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	授業で行った例題を復習し、トレーニング問題で理解を深めること。	
使用教科書・教材・参考書	TAC よくわかる簿記シリーズ 日商簿記2級工業簿記 合格テキスト・合格トレーニング・ドリル・過去問題集・直前答練 問題プリント他	
授業上の注意点	商業簿記と並行して進めるため、偏りなく習得するよう努力すること。	
授業計画（内容）		コマ数
工業簿記の基礎		1
工業簿記の勘定連絡		1
材料費（Ⅰ）		1
材料費（Ⅱ）		2
労務費（Ⅰ）		1
労務費（Ⅱ）		1
経費		2
個別原価計算（Ⅰ）		2
個別原価計算（Ⅱ）		4
部門別個別原価計算（Ⅰ）		2
部門別個別原価計算（Ⅱ）		3
総合原価計算（Ⅰ）		1
総合原価計算（Ⅱ）		1
総合原価計算（Ⅲ）		4
総合原価計算（Ⅳ）		1
総合原価計算（Ⅴ）		1
財務諸表		2
標準原価計算（Ⅰ）		2
標準原価計算（Ⅱ）		5
直接原価計算（Ⅰ）		1
直接原価計算（Ⅱ）		2
本社工場会計		2
問題演習		18
	合計	60
	授業単位数	4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	商業簿記応用	
実務経験	税理士事務所を経営し各企業への経営コンサルタントを行っている。	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科1年/情報システム科2年/経営情報科4年	
授業時間数・単位数	60コマ ・4単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	中規模株式会社が営む商品売買業、サービス業等の会計処理を学ぶ。	
授業の到達目標	中規模株式会社の会計知識を習得し、日商簿記2級の合格を目指す。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	授業で行った例題を復習し、トレーニング問題で理解を深めること。	
使用教科書・教材・参考書	TAC よくわかる簿記シリーズ 日商簿記2級商業簿記 合格テキスト・合格トレーニング・ドリル・過去問題集・直前答練 問題プリント他	
授業上の注意点	工業簿記と並行して進めるため、偏りなく習得するよう努力すること。	
授業計画（内容）		コマ数
簿記一巡の手続き		1
損益計算書と貸借対照表		1
商品売買		2
現金および預金		1
債権・債務		2
有価証券		2
有形固定資産（Ⅰ）		2
有形固定資産（Ⅱ）		2
リース取引		1
無形固定資産等と研究開発費		1
引当金		1
外貨換算会計		1
税金		1
株式の発行		2
剰余金の配当と処分		2
決算手続		6
収益・費用の認識基準		1
課税所得の算定と税効果会計		3
本支店会計		2
合併と事業譲渡		2
連結会計Ⅰ（資本連結Ⅰ）		2
連結会計Ⅱ（資本連結Ⅱ）		2
連結会計Ⅲ（成果連結）		2
問題演習		18
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜経営情報科＞

科目名	アプリケーション実習Ⅱ	
実務経験	日常業務で、MS Word、Excel、Power Point、Access等のアプリケーションを使用	
対象学生	情報システム科2年、経営情報科4年	
授業時間数・単位数	60コマ ・ 4単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	MicrosoftOfficeSpecialist資格試験（Word、PowerPoint）の合格を目標として、問題演習などを行います。	
授業の到達目標	表計算ソフトの基本的な操作ができるようになること、MicrosoftOfficeSpecialist試験（Word、Powerpoint）の合格を目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、MicrosoftOfficeSpecialist資格試験の合否、プレゼンテーションの実施結果及び平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	MOS Microsoft Word 2016対策テキスト&問題集 FOM出版、30時間でマスター Power Point 2016 実教出版	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
Word対策		
(1)文書の作成と管理		2
(2)文字、段落、セクションの書式設定		2
(3)表やリストの作成		2
(4)参考資料の作成と管理		2
(5)グラフィック要素の挿入と書式設定		2
(6)模擬試験プログラム活用による模擬試験演習		20
Powerpoint対策		
(1)プレゼンテーションの作成と管理		2
(2)テキスト、図形、画像の挿入と書式設定		2
(3)表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入		2
(4)画面切り替えやアニメーションの適用		2
(5)複数のプレゼンテーションの管理		2
(6)模擬試験プログラム活用による模擬試験演習		20
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職対策Ⅱ	
対象学生	情報システム科2年、経営情報科4年	
授業時間数・単位数	15コマ・1単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	就職活動を円滑に進めるための準備と、就業時に必要となる知識を得るためのセミナーなどを行います。	
授業の到達目標	希望企業への採用内定と就業時に必要となる知識を得ることを目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
(1)就職活動準備(履歴書作成、面接練習など)		10
(2)税務セミナー、社会人準備講座、スーツの着こなし講座等への参加		5
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	e-ビジネス総論	
対象学生	経営情報科	
授業時間数・単位数	15 コマ	1 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	<p>「e-ビジネス」という言葉が使われるようになったのは、比較的近年であるが、情報通信技術の急激な進化により、社会活動・産業活動・企業活動におけるネットビジネスの中核をなしている。</p> <p>e-ビジネスを単にインターネット技術を活用した電子商取引と捉えるのではなく、社会、ビジネス、ITなどの広い視点から概観する。</p>	
授業の到達目標	<p>インターネットをはじめとするネットワークやパソコン、スマートフォンの普及によるSNSの利用者増加が、個人の生活や企業内のビジネスモデルを変革し、企業間、企業と個人間、個人同士のコミュニケーションを飛躍的に発展させ、モノとモノとのコミュニケーションに繋がっていることを理解する。</p>	
成績評価方法と基準	<p>出席状況、授業への参加意欲、及び科目試験の成績により評価する。 A:80～ B:60～79 C:40～59 D:40未満</p>	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	ネットビジネス進化論（第2版） 中村忠之 中央経済社	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	e-ビジネスからネットビジネスへ	1
	情報と情報化	1
	サービスの価値化	1
	情報処理とコンピュータ	1
	インターネットとウェブ	1
	新たな経験則とWeb2.0	1
	経営手法と情報システム	1
	電子商取引	1
	ビジネスモデル	1
	ソーシャルメディア	1
	インターネットマーケティング	1
	ネットワークと情報システム	1
	情報セキュリティ	1
	ネット社会の倫理と法	1
	ネットビジネスイノベーション	1
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	サーバ構築演習	
対象学生	経営情報科	
授業時間数・単位数	15 コマ	1 単位
授業方法	講義 [] ・ 演習 [○] ・ 実習 [○]	
授業の概要	Debian GUN/Linux上で、基本的なサービスを導入する演習を行う。 UNIX系OSのインストールからサーバ構築までを、いわゆるLAMP環境構築を目標とした実践を行う。実践を重視しますが、先々の技術の変化にも耐えられるような知識の獲得を目指し、丹念に構造を理解しながらサーバの構築を学ぶ。	
授業の到達目標	Linuxのインストールから始めて、主要なサービスを動かすことができることを目指す。 DNSサーバ、Webサーバ、データベース（MySQL）、Mailサーバ、ファイアウォール等について最低限の設定ができることを目標とする	
成績評価方法と基準	出席状況、授業への参加意欲、及び科目試験の成績により評価する。 A:80～ B:60～79 C:40～59 D:40未満	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	「Linuxサーバー構築標準教科書」LPI-JAPAN	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
実習環境の準備（Debianのインストール）		1
シェルとコマンド1（opensshのインストール）		1
シェルとコマンド2（基本コマンドのおさらい）		1
DNSサーバ1（BINDインストール）		1
DNSサーバ2（Zoneデータの設定）		1
Webサーバ1（Apache httpdインストール）		1
Webサーバ2（Logの設定）		1
PHP（PHPのインストール）		1
データベース（MySQLのインストール）		1
ログ（rsyslogの設定）		1
LVM1（2回目のDebianインストール）		1
LVM2（LVMの設定）		1
firewall（ufw/iptablesの設定）		1
Mailサーバ（Postfixのインストール）		1
サーバの暗号化通信（各サービスのTLS対応）		1
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ネットワーク応用	
対象学生	経営情報科 4 年	
授業時間数・単位数	15 コマ・1 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	ネットワークを構成する様々な技術と、それらを司る様々な仕組みについての学習をとおして、ネットワーク設計に必要な知識と具体的手法を習得します。	
授業の到達目標	CompTIA NETWORK+の試験問題が解けるようになることを目指します。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。科目試験結果、出席率等を総合的に判断して評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	「Get!CompTIA Network+」 （翔泳社）	
授業上の注意点	毎回、確認問題を用意します。	
	授業計画（内容）	コマ数
ネットワーク通信とプロトコル OS I 参照モデルとは		1
基本的なネットワークの理論と概念 TCP / IP プロトコルスイート		1
ワイヤレス接続ネットワーク イーサネット（有線接続）ネットワーク		1
情報セキュリティポリシーと文書化 ネットワーク設備の安全対策 ネットワーク機器の設置と配線		1
さまざまなネットワークデバイスの機能と役割 ネットワークサービスとアプリケーションの利用		1
ネットワークサービス / アプリケーションの設置や設定		1
さまざまなWANテクノロジーの特徴とメリット		1
さまざまなケーブルとコネクタコネクタ		1
一般的なネットワークトポロジーの違い ネットワークの違い		1
適切なアドレッシング設定を行う（その1）		1
適切なアドレッシング設定を行う（その2）		1
基本的なルーティングの考え方とプロトコル（その1）		1
基本的なルーティングの考え方とプロトコル（その2）		1
通信技術の基本要素 クラウドや仮想化をサポートするテクノロジー 基本的なネットワークの実装		1
科目試験		1
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	各種検定試験対策	
対象学生	情報システム科2年、経営情報科3・4年	
授業時間数・単位数	135コマ ・ 9単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講義 [] ・ 演習 [○] ・ 実習 []	
授業の概要	就職等に有益な検定試験について、本科カリキュラムに関連する授業がない場合など、学生各自が目標とする検定試験を選定し、学習方法やスケジュールを教員と相談の上、テキスト学習や過去問題等の演習を行います。	
授業の到達目標	選定した検定試験の合格を目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、検定試験合否や模擬試験の結果、平常点等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	授業時間だけでは学習が不足する場合は、授業時間外での学習が必要です。	
使用教科書・教材・参考書	選定した検定試験のテキスト・問題集等	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
検定試験選定・学習計画立案		3
学習活動(テキスト学習、問題演習)		132
※関連するカリキュラムが他の科にある場合は、極力その授業計画に沿って受講する。		
合計		135
授業単位数		9

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	自主課題学習	
対象学生	経営情報科 4 年	
授業時間数・単位数	60コマ・4単位（左記を標準とし、個々の学年・学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	<p>社会人になるにあたり、下記の観点から個人ごとテーマを設定し、各自スケジュールを管理しながら学習活動を行います。</p> <p>① 専門学校及び併修先の大学で学習した内容の発展として、更に理解を深めたい知識や技術</p> <p>② 内定先の業務を行うにあたって、事前に身につけたい知識や技術</p>	
授業の到達目標	社会人になることへの不安を少しでも解消し、自信を持って仕事に就けるようになることを目指します。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、学習態度、出席率、成果（達成目標）を総合的に判断し評価します。	
準備学習・時間外学習	必要に応じて、学外の図書館を利用したり、内定先企業と相談したりします。	
使用教科書・教材・参考書	各自の設定テーマに関する書籍	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
テーマ設定・学習計画立案		2
学習活動		58
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	FP演習	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科/経営情報科4年	
授業時間数・単位数	30コマ・2単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	ファイナンシャルプランニング技能士2級取得のための問題演習	
授業の到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士2級の合格	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	不正解の問題テキストで確認し、理解を深める。	
使用教科書・教材・参考書	問題プリント他	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	学科試験問題演習（ライフプランニングと資金計画）	2
	学科試験問題演習（リスク管理）	2
	学科試験問題演習（金融資産運用）	2
	学科試験問題演習（タックスプランニング）	2
	学科試験問題演習（不動産）	2
	学科試験問題演習（相続・事業承継）	2
	実技試験問題演習	4
	過去問題演習	6
	模擬試験	8
	合計	30
	授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	総合実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
対象学生	経営情報科 1・2・3・4年	
授業時間数・単位数	2コマ・30単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	球技大会や学園祭、校外研修などの行事、及び各カリキュラムの総合的な実践・学習を行います。	
授業の到達目標	充実した学生生活を送るとともに、社会人となるにあたって協調性・積極性・計画性などを養います	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、活動状況や出席状況、平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	(1) 球技大会	4
	(2) 学園祭	4
	(3) その他学校行事など	22
	合計	30
	授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	卒業研究	
対象学生	情報システム科2年、経営情報科4年	
授業時間数・単位数	90コマ・6単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	在学中に自分が学んだことや身に付けたこと、チャレンジしたことなどからテーマを選び、調査や研究をして報告書を作成する。また、その内容をプレゼンテーションする。	
授業の到達目標	在学中に習得した知識を駆使した研究成果物を完成させ、卒業研究発表を行うことで、計画立案と実行する能力、進捗管理や目標達成の能力を身に付ける。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A (80点以上) ・ B (60点以上) ・ C (40点以上) ・ D (40点未満) とし、研究成果によって評価します。	
準備学習・時間外学習	研究活動を行う時間が足りない場合は、放課後等の時間を使って進めること。	
使用教科書・教材・参考書	特になし	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	1. テーマの選定	5
	2. 研究活動	30
	3. 研究報告書の作成	30
	4. プレゼンテーション資料の作成	18
	5. プレゼンリハーサル	4
	6. プレゼン本番	3
	合計	90
	授業単位数	4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	大学科目補講	
対象学生	経営情報科 1・2・3・4年	
授業時間数・単位数	120コマ・8単位（左記を標準とし、個々の学年・学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	経営情報科の併修先「北海道情報大学通信教育部」の大学科目履修のために必要となる学習を各学生が個々に計画を立てて行います。	
授業の到達目標	各大学科目の単位修得を目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とし、学習態度、出席率、成果（達成目標）を総合的に判断し評価します。	
準備学習・時間外学習	学習に遅延が発生しそうな場合は、授業時間外にも学習を行う必要があります。	
使用教科書・教材・参考書	各大学科目の教科書、北海道情報大学通信教育部レポート集、学習用プリント他	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
授業オリエンテーション		1
学習計画立案		2
学習活動		117
	合計	120
	授業単位数	8

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	販売士Ⅱ	
対象学生	総合ビジネス科、経営情報科	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講義 [〇〇] ・ 演習 [] ・ 実習 []	
授業の概要	小売業についての店舗形態、マーチャンダイジング、店舗実務、マーケティング、小売に関する法制度を理解し、リテールマーケティング検定2級の合格を目指す	
授業の到達目標	リテールマーケティング検定2級の合格を目指す	
成績評価方法と基準	出席と授業態度（50%）、小テスト試験（30%）、試験（20%）	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	成美堂出版1回で合格！販売士検定2級テキスト&問題集	
授業上の注意点	提出課題は期限を守る	
	授業計画（内容）	コマ数
	店舗形態別小売業の運営特性、中小小売業の課題と方向性	1
	商業集積の運営特性	1
	マーチャンダイジングの戦略的展開	1
	仕入計画の立案と仕入活動の戦略的展開	1
	販売政策の戦略的展開	1
	販売管理政策の戦略的展開、物流政策の戦略的展開	1
	小テスト	1
	戦略的ストアオペレーションの展開視点	1
	店舗運営サイクルの実践と管理、戦略的ディスプレイの実施方法	1
	レイバースケジュールリングプログラムの役割と仕組み、人的販売の実践と管理	1
	小売業のマーケティング戦略の考え方	1
	顧客戦略の展開方法、販売促進の企画と実践	1
	商圈分析の立案と実施方法、出店立地の選定と出店戦略の立案	1
	業態開発の手順と実践	1
	販売管理者の基本業務	1
	販売管理者の法令知識	1
	販売事務管理に求められる経営分析	1
	店舗組織体制と授業員管理	1
	店舗施設の維持管理	1
	予備試験	2
	試験対策	9
	合計	30
	授業単位数	2